

公共交通の改善

■ デマンド交通の利便性向上

- ✓ 年会費制の廃止 + 運賃の値下げ
- ✓ 目的地に応じた運賃設定

現行

600円
(東部⇄南部, 北部⇄南部は1,200円)

現行

500円 地区外への移動
(東部⇄南部, 北部⇄南部は800円)
200円 地区内での移動

- ▶ 利用者の負担軽減 + 利用機会の増加

■ 路線バスの維持

✓ 路線バスのオープンデータ整備

GTFS-JP (標準的なバス情報フォーマット)の整備

- ▶ 利用者の利便性向上
(Google Mapsでのリアルタイム経路検索が可能など)

✓ 市民向けバスイベント

路線バス全域無料DAY

デマンド&路線バスde土浦ツアー

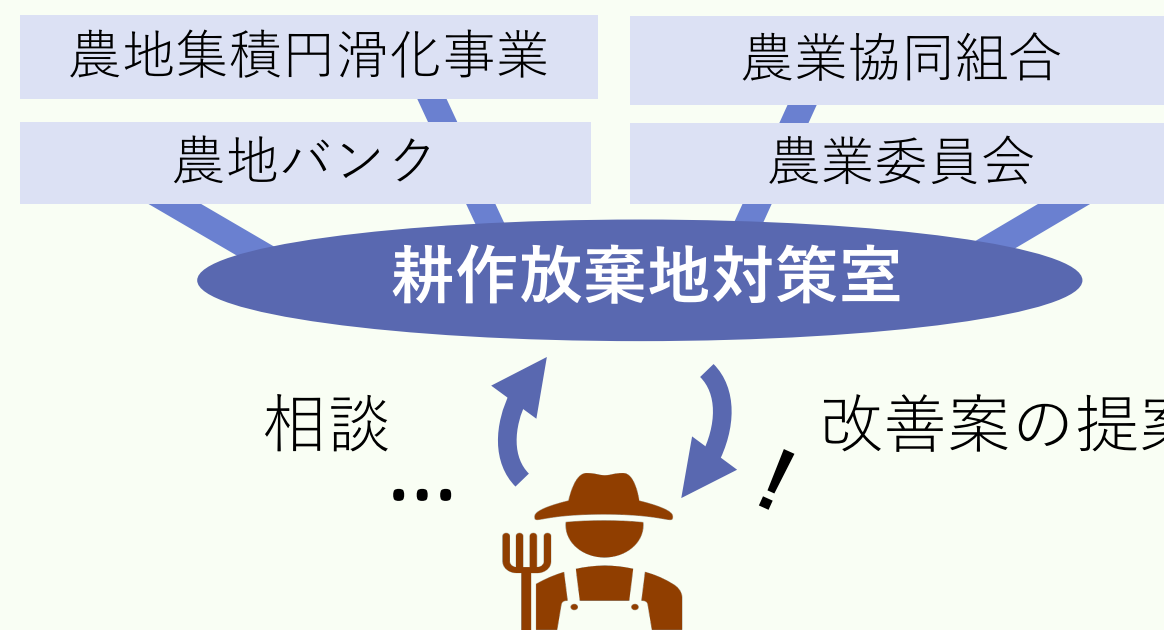
- ▶ バスを使い始めるキッカケづくり

耕作放棄地対策

■ 改善のためのシステムづくり

✓ 耕作放棄地対策室

耕作放棄地の改善案を所有者に提示する窓口の設置



- ▶ 所有者の実情にあった改善が可能に

✓ 固定資産税の変更

そのまま	国の方針... +80% 土浦市 ... +20%	改善	国の方針... -50% 土浦市 ... -10%
現状の約 2倍 の税負担		現状の 40% の税負担	

- ▶ 耕作放棄地を改善するインセンティブ

コツコツ つちうら

2019年度都市計画マスタープラン実習1班

TA: 蓮沼舜矢 班長: 武田陸
阿部卓弥 板橋昂汰 一井直人 歌代友哉 川辺怜

全体構想

■ 今すぐ解決すべき問題

公共施設
の更新

財政状況
の悪化

公共施設再編

■ 20 - 30 年後に影響が深刻化する問題

人口減少
少子高齢化
まちの低密度化

交通弱者増加
中心市街地衰退
耕作放棄地拡大

公共交通の改善
中心市街地活性化
耕作放棄地対策

■ 土浦の長所伸ばすための取り組み

自転車観光客
向けの整備

地区別構想

北部

- ✓ 公共交通の改善
- ✓ 耕作放棄地対策

東部

- ✓ 公共交通の改善
- ✓ 公共施設再編
- ✓ 耕作放棄地対策

南部

- ✓ 公共交通の改善
- ✓ 公共施設再編

中央部

- ✓ 公共交通の改善
- ✓ 公共施設再編
- ✓ 中心市街地活性化 +
自転車観光客向けの整備

中心市街地整備

■ カフェから始まるまちづくり

✓ FEST - C 事業

From Empty Store To Café “空き店舗をカフェに”
Fest “にぎわいのある” Center “中心市街地に



オープンカフェ



テーマを持たせる

- ▶ 中心市街地活性化の基盤づくり

✓ T - cycle 事業

Tsuchiura - cycle "中心市街地でコミュニティサイクル"
料金無料, 利用時間 6:00 - 22:00, 台数 50 台

- ▶ 土浦駅前から中心市街地への回遊を促進
市民に自転車のまちであるという意識の浸透

FEST - C

T - cycle

市民も観光客も中心市街地での回遊性の向上

公共施設再編

■ 東部地区を例に

✓ 上大津支所

【現状】

利用件数少, 築 37 年と老朽化進行
他の支所, 出張所と業務範囲が重複

【提案】

支所の廃止
既存のコンビニでの証明書発行サービスの利用へ移行

- ▶ 今後 40 年間で 6.2 億円の費用削減

✓ 上大津西小学校

【現状】

2019 年度末に閉校 (菅谷小学校と統合)

【今後の方針の案】

一旦そのまま残す	: 約 6,580 万円/年
宿泊施設など別用途で利用	: 約 8.74 億円 (別途収入あり)
解体する	: 約 7,800 万円